

令和4年3月号

学校だより 糺谷

大田区立糺谷小学校

<https://www.ota-school.ed.jp/koujiya-es/>

「温故知新」で初心に立ち返る

校長 水浦 茂樹

6年生の皆さんには、「温故知新」という初代校長の言葉をお贈りします。何事も悩んだ時に、初心に立ち返ることを教えてくれる言葉です。まさしく学び方であり、生き方そのものを表した言葉です。すぐに役立つ人もいれば、何十年も経ってから、役立つ人もいるでしょう。少し、フライング気味ですが、気持ちを伝えます。ご卒業おめでとう。保護者の皆様も、おめでとうございます。

年初めに、師である書家の蒼石（そうせき）先生が、私が好きな字を書いてくれるとおっしゃるので、本校初代校長である宮田 高男先生が大事にしていた「温故知新」という言葉を選びました。現在、校長室に飾っていますが、この言葉を選んだ理由は、初代校長の教育への思いを想像し、本校校長として「初心に立ち返る」ことを肝に銘じたかったからです。

「温故知新」は、前に学んだことや昔のことを調べ考え、新たな知見を見だし、自分のものとすることです。これは、まさしく学校教育の学びそのものであります。教科書を使って、自ら新しいことを学び考え行動し、創造力や個性を伸ばし、人間性を豊かにしていくことと同意であると考えます。校長室に掲げる「温故知新」をいつも見ながら思いに耽（ふけ）ると、初代校長が考えていただろう「温故知新」に少しだけ近付けたような気がします。こうして初代校長の心と同化することで、本校教育の不易なものは「温故知新」であると認識し、本校校長としての初心に立ち返ることができたのではないかと思います。蒼石（そうせき）先生に感謝です。

この言葉の重み考えた時、2011年に起った出来事は忘れてはなりません。東日本大震災です。震災後、安全教育の推進がなされましたが、こうしたことも含めて、私が特に記憶に残ることが二つあります。一つは、2013年の「追悼式典」で岩手県遺族代表の 山根りんさん（当時18）の言葉です。全ては書き切れませんが、簡潔にまとめた次のような言葉でした。「あれから少し強くなりました。亡くなった母への思いと多くの支えがあったから。」数万人が犠牲になった本震災は、多くの人の夢を奪いました。山根さんのように力強く生き抜く力を見ると、何だか涙が出てきてしまうのです。二つは、私は、都教育行政に携わっている頃、2015年1月に、石巻市立門脇（かどのわき）小学校を視察したことがあります。この小学校は、低地にありましたが、震災時の避難がよく、最小限の被害に抑え、高く評価された学校です。今は、閉校となりましたが、当時の校長と防災主幹教諭から貴重なお話を伺いました。「早く、そして、とにかく高いところを探して登った。」という言葉が忘れられません。忘れてはならない自然災害であり、このしたくはなかった経験から学び、次につなげる、避難訓練等の安全教育の必然性をこれからも大事にしていきたいと思えます。

さて、話を变えますが、今の子どもたちは、自分の気持ちを周りの大人から汲んでもらえる機会が昔より格段に増えた一方、自身が相手の気持ちを察する機会が減ったと感じています。この状況は、私たち教師の生活指導の仕方を変えました。先日、あるお子さんが友人関係でトラブルになり、その生活指導では、思春期に入っているのか、なかなか仲直りに向けた指導が入りませんでした。このため、さらに児童理解に努め、その上で「友達と仲よくしよう。」ではなく、「友達の気持ちを理解しよう。」と伝えました。そのお子さんも、すずんと納得できたようです。当然に、我々教師はお子さんの成長に合わせて、「仲よくしなさい。」と言う場合もあり、教師は使い分けるようにしています。まさしく「温故知新」であると考えます。

今、世界では、大国が関わる紛争が、残念ながら、起きています。平和とは何かと考えた時に、やはり「温故知新」が大事だと思知られます。これまでの二つの大きな世界大戦を経験した我々は、「温故知新」で、仲良くできないのでしょうか。できないのならば、「相手の気持ちや立場を理解」できないのでしょうか。初代校長の言葉は、本当に大事な教育、いや人の生き方の真理であると考えます。

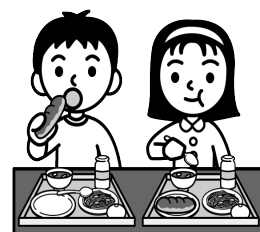
保護者、地域、関係者の皆様、令和3年度の本校の教育活動を見守っていただき、感謝でございます。本校は、改めて「温故知新」を大事にした教育活動を進めてまいります。今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

★生活指導 月目標

「1年間のまとめをしよう」

★保健指導 月目標

「1年間の健康生活をふりかえろう」



3月の行事予定

1	火	
2	水	避難訓練 午前授業
3	木	安全指導
4	金	保護者会(1・3・5年)
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	下校指導(1年)
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	土曜授業 土曜補習
13	日	
14	月	午前授業
15	火	午前授業
16	水	午前授業
17	木	午前授業
18	金	午前授業
19	土	
20	日	
21	月	春分の日
22	火	1～5年午前授業 6年卒業式予行(6時間授業)
23	水	給食終了
24	木	卒業式
25	金	修了式
26	土	春季休業日
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

※新型コロナウイルス感染予防のため、予定が変更になることがあります。最新の情報はメール・お便りにてお知らせします。

※3月の避難訓練は予告なしで実施します。

《令和4年度 4月の主な行事予定》

6日(水) 入学式・始業式

7日(木) 給食開始(2～6年)

18日(月) 新5・6年保護者会

19日(火) 新3・4年保護者会

22日(金) 新1・2年保護者会





6年生を送る会

特別活動部

2月24日に、6年生を送る会が行われました。

1年生から5年生の児童は、お世話になった6年生に向けて、桜のメッセージカードと、学年ごとの動画を作成しました。また、6年生からも、1年生から5年生へ向けてのメッセージや歌のプレゼントなどがありました。

それぞれの学年からの、思いの詰まった動画が流れ、各教室からは、笑顔があふれていました。

今年度も、放送での開催となりましたが、画面を通して、大好きな6年生への、離れがたい思いが伝わる温かい会になりました。



卒業に向けて

第6学年

今年の6年生は、高学年になってすぐコロナ禍による休校や様々な学校教育の制限により、クラブ活動、委員会活動、運動会の係活動など、高学年が中心となって取り組む機会が確実に減りました。他学年と関わる時間も減り、高学年として活躍し、学校の中心であると自覚することが難しかったと思います。そんな中でも、在校生たちが「6年生を送る会」で、6年生のよいところを見つけてくれて、温かい言葉をプレゼントしてくれたり、合唱を聴かせてくれたりしました。6年生はとても嬉しそうで、最高学年として見られていることを実感できたと思います。

小学校生活最後の学校行事「卒業式」では、今までの小学校生活を振り返りながら、中学校に向けてどのように生活していくのか考えながら取り組みます。残りわずかな日々ですが、目の前の一つひとつの行動に責任をもち、全員が悔いの残らない小学校生活を送れるように、学年、学校全体で見守っていきます。

生活指導の1年を振り返って

生活指導部

今年度は、4月始業式に「3つの『あ』」として、【あいさつ・安全・安心】を目標に、1年間のスタートをしました。

あいさつについては、高学年の児童を中心に、元気に声を出す姿が見られました。マスクをしていることもあり、表情が伝わりにくい昨今、明るい声であいさつができるように引き続き呼び掛けていきたいと思えます。

また、年間を通して、新型コロナウイルス感染症対策のため、子どもたちの学校生活には様々な制約がありました。休み時間の過ごし方や、学習するときの注意点など、安全で安心な方法を話し合いながら、学校生活を送ることができたのではないかと思います。その時々状況に合わせることで柔軟さには、感心しました。

放課後の過ごし方については、課題となる点がいくつか地域の方々からの声が寄せられました。

○公園など、公共の場所で過ごすときには、周りの迷惑にならないように気を付ける。

○お金を持って遊ばない・学区外で子供だけで遊ばないなど、「糶谷小遊びのやくそく」を守って遊ぶ。

以上の点については、ぜひ、お家の方からも伝えてください1年間、ご協力ありがとうございました。

安全教育と人権教育について

生活指導部

「ただいま」という何気ない挨拶が、ある日突然、子どもの口から、あるいは家族の口から聞けなくなったと、想像してください。

それは11年前の3月に、東北地方沿岸部などで多くの家族が直面した現実です。11年経ちましたが、遺族は、聞けたはずの「ただいま」が無いということの寂しさを毎日のように感じています。

4年以下の児童にとっては生まれる前の出来事ですが、3月は、メディアを通して目の当たりにすることが多いと思えます。ぜひ、ご家庭で、被災家族に思いを馳せる時間をもったり、災害への備えを相談したりしていただきたいです。

合わせて、日々の交通安全などについても、注意を喚起していただきたいです。

1年間の体育的行事を終えて

体育部

今年度は2年ぶりに「全国体力・運動能力、運動習慣調査」、水泳指導を実施することができました。体育的行事においても、十分にソーシャルディスタンスを取り、発声や用具を共有しないなど可能な限り感染症対策を講じてきました。水泳を行った児童からは、笑顔がたくさん見られました。校外では、大田区小学校駅伝大会に参加し、代表児童の走りからは、寒さを吹き飛ばすほどの活躍が見られ、好成績を残すことができました。課題としては、生活リズム、運動機会や場所の減少から、児童の体力、運動機能は低下傾向にあります。学校として、休み時間や体育での授業において十分な運動機会を確保し、児童の体力向上を図っていききたいと思います。1年間、ご協力ありがとうございました。

「空港教室」

キャリア教育

2月15日(火)に、6年生で空港教室を実施しました。総合的な学習の時間と連動したキャリア教育です。羽田空港の関係者の方が11名、指導主事、区関係者がご来校され、授業が行われました。パイロット(JAL)、キャビンアテンダント(ANA)、航空管制官(航空局)の方々以下の流れで授業をしてくださいました。

①全体講義形式による仕事の紹介

体育館で第6学年全員が聴講しました。羽田空港の紹介、パイロット・キャビンアテンダント、航空管制官の仕事の紹介、パイロットと管制官の通信実演がありました。

②グループ形式による仕事紹介

全体講義の終了後、パイロット・キャビンアテンダント・航空管制官のうち、児童が選んだ職業別に分かれ、話を聞きました。それぞれ、業務紹介、クイズ、体験、質疑応答という流れでした。詳細は学校ホームページに掲載しましたので、内容についてご確認願います。将来、このことが何かのきっかけとなり、多くの学びに努め、糶谷小から羽田空港関係の業務に携わる子どもがいたら、嬉しいと思えます。



ネット・モラル教室

生活指導部

2月10日、教育ネットの植田先生が、オンラインでネット・モラル教室を開いてくださいました。100名を超える保護者の皆様にもご参加いただきました。本校はSNSトラブルがありましたので、次年度は今年度以上に参加していただきたいと強く期待します。「様々な場面で言葉や道具を使いこなす」、「信頼できる知識や情報を収集し、有効に活用する」ことは、これからの時代に欠かせない必須の力となります。将来のグローバルな社会で、子どもたちはこれらの力がないと、競争に負けてしまうでしょう。当然、この力には、道徳性や倫理性が必要で、心がダメだったら何にもなりませんということです。まさしく、ネット・モラルが必要なのです。詳細は、学校ホームページをご覧ください。

優秀教員の報告

本校主幹教諭の先生が、35年間(大田区22年)の教員人生の功績が認められ、大田区教育功労者表彰を受賞されました。誠に喜ばしいことですので、ご報告します。